

# 大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

第 20 週より、週報の様式が変更になりました

2017 (平成 29) 年 第 22 週 (5 月 29 日～6 月 4 日)

## 今週のコメント

～ 手足口病 ～ 第 17 週より、定点あたり報告数は 1.0 を超え、今週は 3.0 になりました

### 定点把握感染症

「手足口病 増加続く」

第 22 週は前週比 2.5%減の 3,393 例の報告があった。報告の第 1 位は感染性胃腸炎で以下、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病、咽頭結膜熱、突発性発しんの順で、上位 5 疾患の定点あたり報告数はそれぞれ 7.5、3.4、3.0、0.9、0.6 であった。

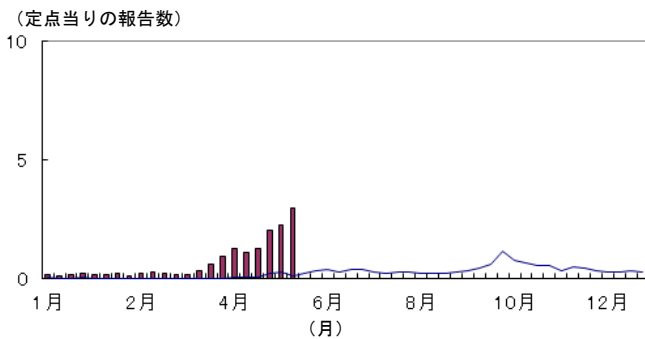
感染性胃腸炎は前週比 7%減の 1,509 例で、南河内 12.0、泉州 11.1、中河内 9.9 の順である。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は前週比 6%減の 679 例で、南河内・中河内 4.9、泉州 4.7、大阪市西部 3.9 であった。

手足口病は 32%増の 600 例で、北河内 4.9、中河内 3.7、大阪市北部 3.6、南河内 3.4、大阪市南部 3.3、大阪市東部 3.1 と続く。

咽頭結膜熱は 17%減の 186 例で、大阪市南部 1.7、中河内 1.6、北河内 1.2 であった。

手足口病



A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

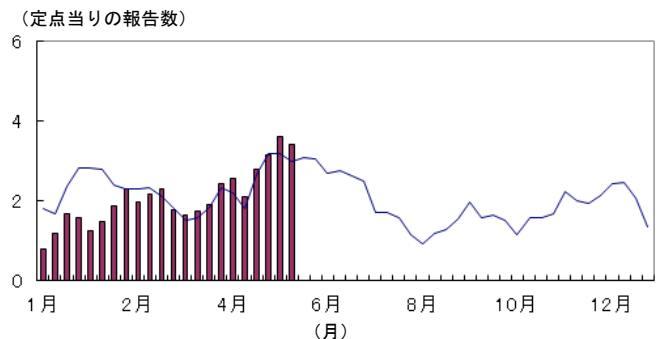


表 1. 大阪府小児科定点把握感染症の動向 (2017 (平成 29) 年 第 22 週 5 月 29 日-6 月 4 日)

第 22 週 の順位	第 21 週 の順位	感染症	2017 年 第 22 週の 定点あたり報告数	前週比 増減	2016 年 第 22 週の 定点あたり報告数	2017 年 第 22 週 の年齢別 患者発生数 最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	7.5	7%減	6.7	1 歳_18%
2	2	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.4	6%減	3.0	4 歳_15%
3	3	手足口病	3.0	32%増	0.1	1 歳_39%
4	4	咽頭結膜熱	0.9	17%減	0.9	1 歳_35%
5	5	突発性発しん	0.6	9%減	0.7	1 歳_50%

## 第 22 週のコメント

～侵襲性肺炎球菌感染症～ 第 22 週までの累積報告数は、過去 5 年間で最多です

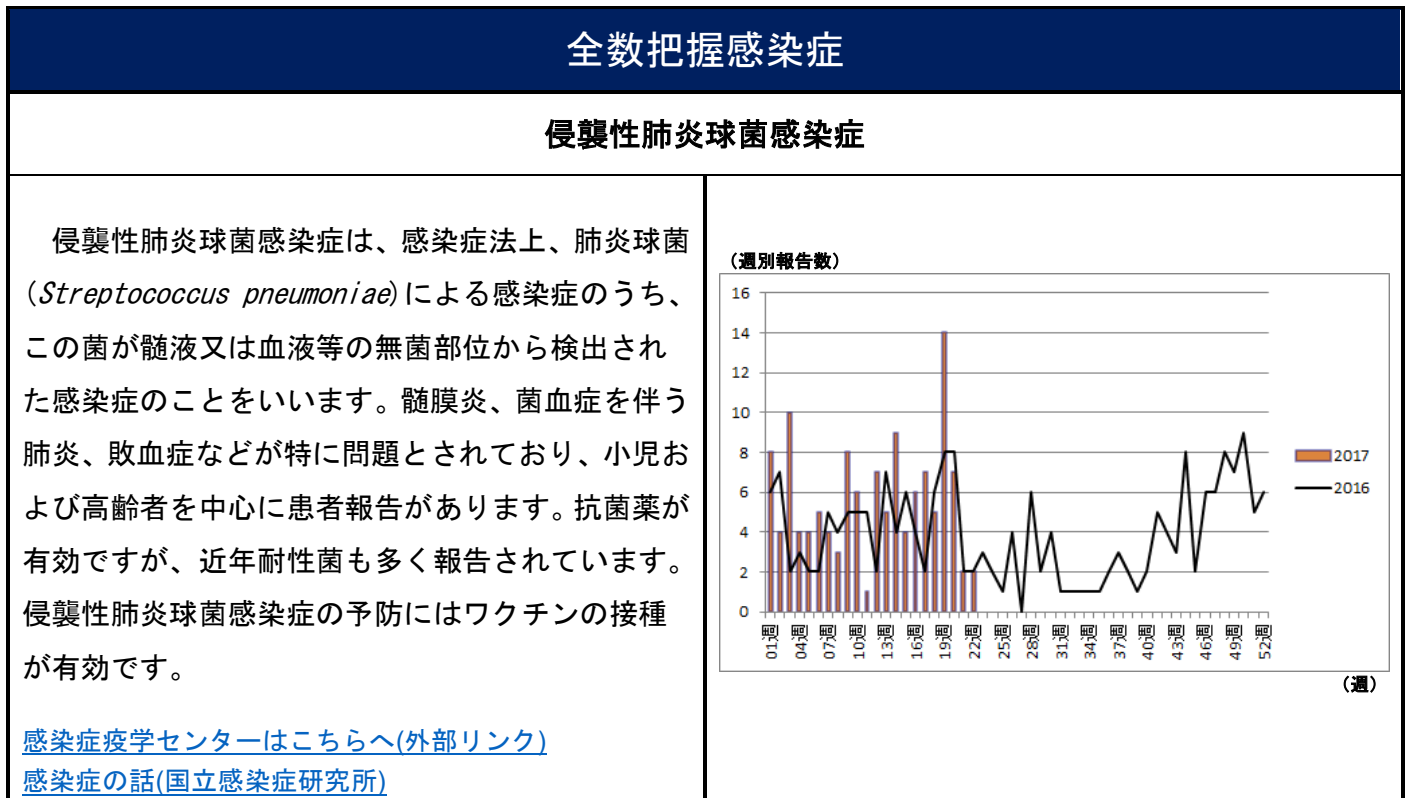


表 2. 大阪府全数報告数 (2017(平成 29)年 第 22 週 5 月 29 日－6 月 4 日)

\* ) 注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります

1 類感染症	報告はありません
2 類感染症 (結核は除く)	報告はありません
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 1 名 (南河内ブロック 1 名、府内累積報告数 28 名)
4 類感染症	レジオネラ症 1 名 (大阪市 1 名、府内累積報告数 21 名)
5 類感染症 (麻疹、風しんは除く)	<p>アメーバ赤痢 1 名 (三島ブロック 1 名、府内累積報告数 55 名)</p> <p>カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1 名 (大阪市 1 名、府内累積報告数 52 名)</p> <p>後天性免疫不全症候群 2 名 (大阪市 2 名、府内累積報告数 69 名)</p> <p>侵襲性肺炎球菌感染症 2 名 (中河内ブロック 1 名、南河内ブロック 1 名、府内累積報告数 129 名)</p> <p>水痘(入院) 1 名 (大阪市 1 名、府内累積報告数 7 名)</p> <p>梅毒 8 名 (中河内ブロック 1 名、大阪市 7 名、府内累積報告数 270 名)</p>
結核(2017 年 4 月分)	結核 新登録患者数:141 名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 50 名) (府内累積報告数 596 名、内 肺・喀痰塗抹陽性 235 名)
麻疹、風しん	報告はありません

(2017 年 6 月 6 日 集計分)